



図書だより 夏休み号

令和4年7月21日
開南幼稚園 永森 加奈

たくさん遊ぼう 夏休み

不安定な天気が多く、梅雨に戻ったような日が続き、真夏の日差しが待ち焦がれます。

1学期後半の子どもたちは「あのね、ながもりさん、きいて！」と話しかけてくれたり、楽しかった絵本を友だちと教え合ったりする姿が見られました。年中も月曜日の希望者への貸出しが始まり、意欲的に借りる子が増えており、それぞれの成長が見られ、とても嬉しいです。

たっぷり時間のある夏休み、夏ならではの体験をお子様と一緒にたくさんしてください。実際に目を凝らして視、耳を澄ませて聴き、実際に触れて、においを嗅ぎ、自然を肌で感じる経験が大切です。幼児期に能動的に遊び、五感を働かせるほどに、学力も体力も成長につながると言われています。子ども自身が敏感に感じ取りできるきっかけを、たくさん作ってほしいです。家庭でのお手伝いも遊びにつなげて、時間を共有し、思いを共感してください。一緒に何かをしたという記憶は鮮明に残ります。ご家族でたくさん体験をして楽しい夏休みをお過ごしください。新学期に子どもたちが、思い出話をしてくれることを楽しみにしています。



ぱれっとさんのおはなし会

「おはなし ぱれっと」(お母様の読み聞かせボランティア)の“ちいさなおはなし会”(10分程度)が毎月2回あります。お話を聴きたい子が集まり、担当の方が選んだ絵本を読んでもいただきます。今月は特別版で、「かきの木マン」のパネルシアターを見せて下さいました。生演奏の音楽に合わせて、子どもたちも手拍子で応援し、お話に引き込まれ、最後まで集中して聴いていました。ぱれっとさん7名のうち、今年度から参加した方が4名だったのですが、とても良い連携で、楽しい特別の時間になりました。おはなし会の様子は、ホームページに掲載してありますので、ぜひご覧ください。加藤さん(きりん)、山中さん・藤尾さん(ぞう)、坪崎さん・鈴木さん(ひつじ)、木戸さん(うさぎ)、白岩さん(りす・ぞう)ありがとうございました！

2学期も楽しい企画を考えています。一緒に活動したい方は、担任にお伝えください。

本日貸出し

夏休み中に読む本を2冊貸し出ししました。

返却 8/29(月)

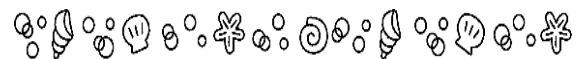
- ・ お子さんと一緒に読んでください
- ・ 絵本は大切に扱ってください
- ・ 破損したときはセロテープなど貼らずに、付箋などでお知らせください

始業式に忘れずに返却をお願いします

面白がること

今年1月にお亡くなりになった児童文学作家、翻訳家の松岡享子さん。数年前に講演でお話を聴きました。松岡さんのお人柄がにじみ出るような、とても優しい語り口だったことが思い出されます。“絵本の世界ではどんな自分にもなることができ、何でもできる、絵本で育まれる感受性は人生を楽しむ力にもつながる。子どもの素直な「感じ方」を大事に、幼い時は感じること、面白がることが一番大事な土台”という言葉がとても心に残っています。

松岡さんの作品は翻訳したものもたくさんあります。我が家では「くまのパディントン」がお気に入りでした。今年4月に出た最後の作品「えんどうまめばあさんとそらまめじいさんのいそがしい毎日」は思わずクスリとしてしまう楽しい絵本です。ぜひ松岡享子さんのたくさんの面白い本に出会ってください。



思い出の絵本

「ぐりとぐら」(福音館)

中川李枝子 作 大村百合子 絵

誰もが知っている2匹の可愛い物語、私も大好きでした。お話の中に出てくるカステラが本当においしそうで、母と作ってみたいね、食べてみたいねとよく話していたのを思い出します。「ぐり ぐら ぐり ぐら…」のリズムに合わせてカステラを作り、森の動物たちと分け合って食べるとてもほっこりするお話です。ぜひ読んでみてください。

(うさぎ担任 三部優奈)